

# ふれあい

## 第121号

新年あけましておめでとございます。お陰様で公民館も多くの方々のご利用をいただいております。感謝申し上げます。公民館講座生はもちろんのこと、サークルや文化活動、ボランティア活動の拠点として、公民館はますます重要になつていくものと思われます。皆様への窓口をさらに

### 年頭のごあいさつ 「みんなの公民館」

公民館長 真瀬宏子



広く大きくし、皆様との「協働」の精神を推し進めようと努力してまいりました。が、今後はその継続に力を入れていかなければと思ひます。現在、SVCをはじめ、ボランティアの皆様が自主講座を立ち上げたり、美しく花壇を整備して下さっています。パソコン・サロンも定期的に開催され、パソコン入門のお役に立っていると思ひます。公民館は多くの方々のご支援によ



り成り立っております。そのことを考えますと感謝の気持ちでいっぱいになります。今年2月には、第1回目となります。「公民館まつり」が行われます。「みんなの公民館」の実現を目指して、楽しい催しになればと思っております。ぜひご協力の程をお願い申し上げます。また、各分館におかれましては、分館長を中心にして独自に行事を開催していただきますが、その創意工夫には頭が下がることばかりです。今年も益々のご発展をお祈りし、バックアップもしてまいります。

公民館が今後とも、ふれあいの場として、皆様に末永く愛され続けていきますように願っております。本年も皆様の益々のご活躍、ご多幸をお祈りし、年頭の挨拶といたします。



## 祝 成人おめでと 1月13日(日)

平成20年1月13日(日)に野木町文化会館で成人式を行います。野木町の成人式では今年、20歳を迎える方による実行委員会を組織し、前日の準備から当日の式典等の運営まで行っています。今年は、20名の実行委員が集まり、進めてきました。新たに大人の仲間入りをする新成人の方々の新たな門出を祝福いたします。

また、当日は、青少年クラブ協議会、ジュニア・シニアリーダーズクラブの皆さんからも運営の協力をいただきます。

素顔 ~ご存知ですか~

成人式実行委員長  
新井和樹さん

今回、成人式実行委員長を務めさせて頂く新井です。いよいよ私たちも成人式を迎えることになりました。この式を迎える

ことができるようになったのも、何よりご支援してくださった皆様や20年間見守り育ててくれた家族がいたからでしょう。今回の式を迎えるにあたって、この素晴らしい野木町で一緒に育った仲間たちがそれぞれ新成人としての自覚を持ち、これから社会に出るといふことに対しての責任を改めて感じてほしいと思ひます。野木町で育った「野木っ子」として胸を張って成人式を迎え、新たな門出に感謝し、良き思い出を作りましょう。よろしくお祈りします。

# 分館から

## 南赤塚

### ミニソフトバレー大会



11月25日、分館主催のミニソフトバレー大会を実施しました。11月にしては寒波の襲来でことのほか寒い日の大会となりました。回を重ねること30回目の歴史ある大会で、多くの参加チームを期待していましたが、5チームの参加で、少し寂しく感じましたが、予定通り開会式のとすぐに試合開始、試合が始まると寒さなんか忘れて、熱のこもった好ゲームの連続となりました。

参加者の年齢も76歳の方を筆頭に幅広い年齢層で、年の差も忘れて大いにハッスルしていました。強烈なスパイクあり、それを止めるブロックあり、フェイントあり、極めつけは足でレシーブしたりなど、好プレー・珍プレーの連続で大いに楽しい大会となりました。

そして何よりも大会を通して、分館本来の目的である地域の皆さんと親睦が図れたことに大いに満足した一日でした。

## 新橋

【おしらせ】

どんど焼き  
1月12日(土)

分館最後の行事として、昨年同様「どんど焼き」が1月12日(土)、新橋小学校校庭において、16時30分より行われます。

どんど焼きの事前準備として、学校との打合せ、甘酒、竹棒、もち、やぐらの組立て、消防車の出動要請などいろいろな作業があつて、役員一同大忙しです。

しかし、どんど焼きはお札や正月飾りを燃やし、もちを焼いて食べると厄除けになるとの言い伝えもあつてか、もちざおを

さげた親子連れ、祖父母の方々が、炎と戦いながらも一生懸命焼いている姿が昨年は印象的でした。

これからもこの行事を永く続けられるよう、防火に細心の注意を払い実施したいと考えております。また、当日は風や雨のないよう祈るのみです。



## 野木

手打ちそば作りに  
参加して

【野渡地区】

「年越しそばは手作り」という試みで、初めてのそば打ち講習会が12月9日野渡公民館で行われました。参加者17名が6組に分かれ、2名の講師のもと、生まれて初めての方やそば打ち

歴50年近いという方もいましたが、まず講師の方に模範を見せてもらい、それぞれの打ちに入りました。そば粉と小麦粉の割合は7対3で、1人700gの粉が配付されました。初心者には少し難しい配分かと思いましたが、講師の方の丁寧でわかりやすいご指導により、全員長くて細いそばが完成しました。参加者の中には、お子様連れの若いご夫婦が2組おり、家族全員で一生懸命に作っている姿がとても印象的でした。

食べる分だけをゆで、残りはパックにつめて、お土産としましたが、役員を含め総勢30名の試食会は、楽しいひとときとなりました。役員の方は大変かと思いますが、この試みが定例の行事になると、皆の腕が徐々に上がっていくと思います。



# サークル

紹介

ミニバスケットボール  
リトルバース



私たちリトルバースミニバスケットボールスポーツ少年団は、鈴木監督、飯田・沼部・早川コーチの下、佐川野・友沼・間々田東小学校の3校が合同で、「負けない!逃げない!あきらめない!」をモットーに、楽しく、時には厳しく毎日練習しています。メンバーは2年生から6年生の11名と少数ですが、バスケットが好きでついつい体育館に行ってしまう元気な子どもたちの集

まりです。運動が得意な子・苦手な子、背が小さい子・大きい子と様々ですが学年を問わずお友達ができます。一度練習にきて体験してみてもいかがでしょうか?いつでもお待ちしております。子どもが頑張っている姿を見てください。保護者の方も何か得られるかも知れません!お気軽に連絡してください。

練習日

火・木曜日

間々田東小学校

水曜日

友沼小学校

その他の曜日

佐川野小学校

午後4時30分~7時

土・日は午前9時~

連絡先 館野

☎090(4384)7696

## ピアノサークル ピアノ・ピアノニシモ

結成してまだ5年足らずのサークルですが、大浦先生のご指導の下、皆それぞれ好きな曲を弾ける様になっていきます。毎週の練習日には、各自のペースで目的を持ち、楽しみながらレッ

スンしています。

主な活動は、個人のレベルに合わせた曲目選定により、クラ



シックやポップスを中心とした練習を積み、その成果は年一度のおさらい会などで確認しています。

今後もこの和気あいあいの雰囲気を保っていきたくと思っています。

練習日

月4回(火曜日)

9時30分~11時30分

町公民館

連絡先

菖蒲 ☎(57)1897

## 『公民館まつり』

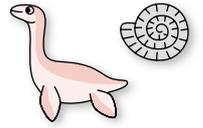


2月16日(土)・17日(日)  
開催!

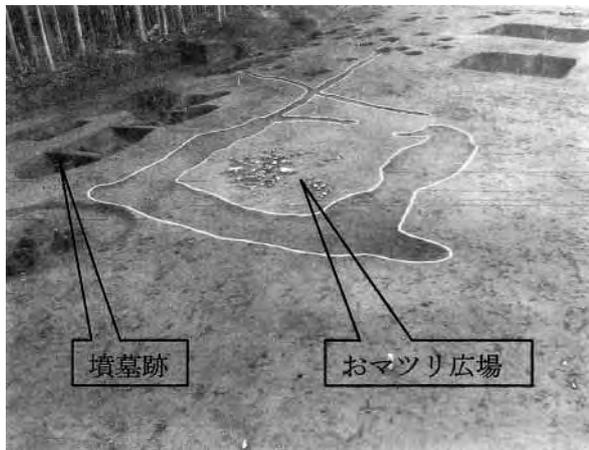
公民館では、今年度から公民館で活動しているサークル・団体・講座受講生による「公民館まつり」を開催します。日頃の活動や成果を展示により発表しますので、公民館へ一度も来たことのない方、これから何か趣味を持ちたい・学習したいと思っている方々、ぜひ「公民館まつり」をご覧ください。



# 歴史の散歩道



清六Ⅲ遺跡航空写真( A発掘現場)



古墳時代の周溝墓とおマツリ広場

## 第5回 清六 遺跡

(古墳時代)

「歴史の散歩道」と題しまして、野木町の歴史紹介をこのページで特集していきます。読者の皆さんといっしょに、楽しみながら、野木町の生い立ちを知ってきたいと思います。

なお、この記事は、野木町郷土史研究会のご協力をえて、寄稿していただいたものです。

清六Ⅲ遺跡における、人々の活動が最も盛んだったのが、古墳時代です。弥生時代中期に伝わった稲作技術は人々の生活を鳥獣を追って移動する生活から、定住して食料を生産する生活に大きく変えました。

人々は協力して田んぼを開拓したのでしよう。2万3千㎡のこの地に、147軒(竪穴住居)の集落を作りました。集落には指導者が現れ、後に支配者となり、

り、支配者を埋葬した墓が古墳として残りました。

この地では、住居のほか、西暦390年頃の周溝墓(周囲を溝で囲んだ有力者の墓)3基・祭りが行われたと思われる遺構・何の遺構か不明のもの・土杭(墓)などが発見されました。

特に台地先端の周溝墓や祭祀遺構などは他と異なり重複していないこと、またこの区域に住宅が作られた形跡がないことから、特別な区域であったと考えられます。

住居址147軒のうち、5世紀後半の住居は中央、6世紀代

の住居は西寄りの区域、7世紀代の住居は全域に広がっていました。住居の規模は一边が5~6mで、柱穴は4~6本・かまどは9割の住居に、かまどと炉が併設された住居は2軒で一边が8mを超える大型なものでした。焼失家屋内の炭化物から屋根に使用された木材はクヌギであり、モモの炭化物も確認されました。遺物は須恵器・土師器・土製支脚・手捏土器・土玉・紡錘車・白玉・土製品・石製品・鉄製品が出土しました。出土品のうち特徴のあるものとして、須恵器を模倣した土師器の坏は、赤く色を塗り、漆が塗られています。土製品は勾玉・鏡・鏝などを模して作られたものでした。石製品は白玉・子持ち勾玉・方板・円板などで石質が群馬県産の黒色千枚岩・足尾産の粘板岩でした。糸をよりあわせる道具紡錘車が11点発見されています。製鉄遺品として溶解炉の一部などが発見されたが、遺構は見つかりませんでした。祭祀(マツリ)に関連した遺跡からは約4千点の土師器小片と51点の白玉が出土しています。

(軽部重夫 記)